



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月6日

上場会社名 株式会社 極洋

上場取引所 東

コード番号 1301 URL <https://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 誠

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理部長 (氏名) 檜垣 仁志

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 2023年11月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	126,075	5.6	3,996	25.7	4,142	28.6	2,451	41.7
2023年3月期第2四半期	133,619	10.5	5,375	66.8	5,805	69.3	4,208	72.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 3,757百万円 (15.2%) 2023年3月期第2四半期 4,432百万円 (78.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	228.66	
2023年3月期第2四半期	391.96	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	155,112	50,393	32.4
2023年3月期	146,301	46,966	32.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 50,219百万円 2023年3月期 47,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				100.00	100.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				90.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	10.2	8,500	4.9	8,500	3.9	6,000	3.8	559.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) Ocean's Kitchen Property Management LLC 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	10,928,283 株	2023年3月期	10,928,283 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	200,737 株	2023年3月期	211,655 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	10,722,095 株	2023年3月期2Q	10,735,972 株

注) 当社は業績連動型株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には当該信託口が保有する当社株式が含まれております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は2023年11月13日に機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P4
(1) 四半期連結貸借対照表	P4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	P6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P9
(継続企業の前提に関する注記)	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P9
(セグメント情報等)	P10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へ移行したことにより、経済活動の再開が加速した一方で、円安が再び進行し、ロシア・ウクライナ情勢が長期化するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

水産・食品業界におきましては、インバウンド需要の復活などにより、外食・観光産業の回復が本格化してきたものの、ALPS処理水放出の影響を懸念する動きや、生産面ではエネルギーや原材料価格の高騰などがあり、厳しい経営環境が続きました。

このような状況の中で、中期経営計画『Build Up Platform 2024』（2021年度～2023年度）の最終年度として、『経営基盤の強化を図りながら、「事業課題への継続的取組み」と「持続的成長への挑戦」を柱とする戦略を進め、社会と極洋それぞれが共有すべき価値を創造していくことで、新たな成長への礎となる「高収益構造への転換」を目指す。』という基本方針のもと、目標達成に向け取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は1,260億75百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は39億96百万円（前年同期比25.7%減）、経常利益は41億42百万円（前年同期比28.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億51百万円（前年同期比41.7%減）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）Ⅱ当第2四半期連結累計期間の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①水産事業セグメント

昨年後半から欧米においては物価高騰により消費が低迷したことを受けて、水産物の消費も減退し、各地で在庫が滞留しました。これにより、今年前半の水産物市況は世界的に不透明な状態が続きました。国内販売においても、相場不透明感から流通・加工業者は手堅い買付にとどまり、主要魚種のサケ、エビを中心に販売が減少しました。利益については、円安によるコスト上昇を販売価格に転嫁できず、水産物全体に相場強含みの中で高収益を確保した、前年同期を下回りました。

海外事業については、輸出はALPS処理水の放出を受けて中国政府が日本産水産物の輸入を禁止したことにより、中国向け主力商材であるホタテの取扱いは減少したものの、円安を背景に青物やマグロなどの販売が伸長し、売上は前年同期を上回りました。海外現地販売においては、インフレによる消費減退により、北米での販売が落ち込みました。

この結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。水産事業セグメントの売上高は599億80百万円（前年同期比11.9%減）、営業利益は21億58百万円（前年同期比32.9%減）となりました。

#### ②生鮮事業セグメント

寿司種を中心とした生食商材は、値上げによる販売減少の動きが見られたものの、価格改定の浸透により収益は改善しました。マグロは、昨年来の世界的な需要の高まりを背景とした原料の高値が消費減退を招き、冷凍品全般に販売が大幅に減少しました。国産養殖クロマグロは、出荷は昨年並みで推移したものの、飼料費などの生産コストの上昇が収益を圧迫しました。海外まき網事業は、カツオの魚価上昇の一方で、水揚げ量の減少と修繕費の増加により収益は悪化しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を下回りました。生鮮事業セグメントの売上高は324億84百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益は10億92百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

#### ③食品事業セグメント

業務用冷凍食品は、生産コスト上昇を反映した値上げにより、販売数量減少の動きが見られたものの、価格改定効果があり、切身や煮魚・焼魚、水産フライなどの売上が伸長しました。市販用冷凍食品

は煮魚・焼魚や、フライ製品などの弁当用商材の販売が拡大しました。冷凍食品の収益については、自社工場製品の拡販に価格改定が加わり、大きく改善しました。

缶詰は、原料高による値上げが影響しサバ缶の販売が減少する中で、注力したイワシ缶の売上は伸長したものの、サバ缶の落ち込みを補うには至らず、全体として販売が減少しました。おつまみ・珍味製品は価格改定の効果があり、売上・利益とも増加しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。食品事業セグメントの売上高は326億28百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は15億円（前年同期比192.4%増）となりました。

#### ④物流サービスセグメント

冷蔵倉庫事業においては、庫腹率の高水準が続いたことで保管料収入が増加するとともに、利用運送事業における外部取引先との取引拡大により、売上が拡大しました。

この結果、売上・利益とも前年同期を上回りました。物流サービスセグメントの売上高は7億70百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は1億23百万円（前年同期比38.3%増）となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ88億11百万円増加し、1,551億12百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ57億71百万円増加し、1,199億74百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ30億39百万円増加し、351億38百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ53億84百万円増加し、1,047億19百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ34億26百万円増加し、503億93百万円となりました。

この結果、自己資本比率は32.4%(前連結会計年度末比0.1ポイント減)となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想に関しては、2023年5月12日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,050	7,681
受取手形及び売掛金	33,079	36,246
棚卸資産	63,886	68,978
その他	10,196	7,079
貸倒引当金	△9	△11
流動資産合計	114,202	119,974
固定資産		
有形固定資産	18,912	21,180
無形固定資産	348	719
投資その他の資産		
投資有価証券	10,134	10,805
繰延税金資産	1,454	963
その他	2,845	3,064
貸倒引当金	△1,597	△1,596
投資その他の資産合計	12,837	13,237
固定資産合計	32,098	35,138
資産合計	146,301	155,112

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,563	11,480
短期借入金	23,783	28,602
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
未払法人税等	2,091	1,031
引当金	1,021	1,012
未払金	8,261	5,539
その他	6,228	7,092
流動負債合計	64,950	69,757
固定負債		
長期借入金	29,816	30,501
引当金	414	393
退職給付に係る負債	3,909	3,851
資産除去債務	16	16
繰延税金負債	—	6
その他	226	191
固定負債合計	34,383	34,961
負債合計	99,334	104,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	1,330	1,330
利益剰余金	37,317	38,692
自己株式	△575	△543
株主資本合計	43,736	45,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,704	4,151
繰延ヘッジ損益	△72	204
為替換算調整勘定	470	973
退職給付に係る調整累計額	△296	△251
その他の包括利益累計額合計	3,805	5,076
非支配株主持分	△575	173
純資産合計	46,966	50,393
負債純資産合計	146,301	155,112

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	133,619	126,075
売上原価	116,774	109,937
売上総利益	16,844	16,138
販売費及び一般管理費	11,469	12,141
営業利益	5,375	3,996
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	73	82
持分法による投資利益	46	31
為替差益	365	165
その他	323	208
営業外収益合計	809	489
営業外費用		
支払利息	216	282
訴訟損失引当金繰入額	5	5
その他	158	55
営業外費用合計	379	343
経常利益	5,805	4,142
特別利益		
固定資産処分益	298	0
受取和解金	—	73
受取保険金	3	—
特別利益合計	302	74
特別損失		
固定資産処分損	1	5
減損損失	1	5
災害による損失	32	650
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	35	663
税金等調整前四半期純利益	6,072	3,553
法人税、住民税及び事業税	2,073	972
法人税等調整額	△195	158
法人税等合計	1,878	1,131
四半期純利益	4,194	2,421
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,208	2,451
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△29



(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△838	446
繰延ヘッジ損益	652	276
為替換算調整勘定	376	566
退職給付に係る調整額	46	45
その他の包括利益合計	238	1,335
四半期包括利益	4,432	3,757
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,440	3,722
非支配株主に係る四半期包括利益	△8	34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,072	3,553
減価償却費	993	1,173
減損損失	1	5
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	70	5
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△48	△20
受取利息及び受取配当金	△74	△84
支払利息	216	282
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1
災害による損失	32	650
受取和解金	—	△73
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,797	△2,967
その他の債権の増減額 (△は増加)	2,218	3,487
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△13,150	△5,380
仕入債務の増減額 (△は減少)	646	2,608
その他の債務の増減額 (△は減少)	△2,687	△1,979
その他	△213	△292
小計	△13,719	967
利息及び配当金の受取額	75	88
利息の支払額	△230	△284
災害による損失の支払額	△17	△34
和解金の受取額	—	73
法人税等の支払額	△968	△2,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,859	△1,220
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△171	7
固定資産の取得による支出	△1,677	△3,184
固定資産の売却による収入	322	0
投資有価証券の取得による支出	△200	△8
貸付けによる支出	△66	△30
貸付金の回収による収入	4	27
その他	△16	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,806	△3,196
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	17,989	4,449
長期借入れによる収入	1,596	1,900
長期借入金の返済による支出	△2,574	△1,129
非支配株主からの払込みによる収入	—	725
配当金の支払額	△972	△1,076
その他	△218	△66
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,820	4,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	187	252
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△659	638
現金及び現金同等物の期首残高	6,539	7,042
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,880	7,681

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	68,109	35,852	28,801	642	213	133,619	—	133,619
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,265	1,584	4,401	556	720	17,528	△17,528	—
計	78,375	37,436	33,203	1,198	934	151,148	△17,528	133,619
セグメント利益	3,216	2,161	513	89	98	6,079	△703	5,375

- (注) 1. セグメント利益の調整額703百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用845百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	水産事業	生鮮事業	食品事業	物流サービス	その他	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益及び 包括利益計 算書計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への売上高	59,980	32,484	32,628	770	211	126,075	—	126,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,184	2,891	5,387	574	772	20,810	△20,810	—
計	71,165	35,375	38,016	1,344	983	146,886	△20,810	126,075
セグメント利益	2,158	1,092	1,500	123	106	4,981	△985	3,996

- (注) 1. セグメント利益の調整額985百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用1,000百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の管理区分を見直したことに伴い、セグメント区分を変更しております。これに伴い、従来「水産商事」、「食品」、「鯉・鮪」、「物流サービス」、「その他」としていたセグメント区分を、「水産事業」、「生鮮事業」、「食品事業」、「物流サービス」、「その他」に変更しております。なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。